

採卵養鶏業者が認証

フュージョンと南九州エッグシステム

食品安全へGAPチャレンジ

採卵養鶏業のフュー
ジョン(都城市)は5
日、生産工程を自己点
検する「GAP(農業生

産工程管理)取得チャ

レンジシステム」の取
り組み農場として、グ
ループ会社の南九州エ
ッグシステム(曾於市)
とともに、中央畜産会
から認定されたと発表
した。いずれも採卵養
鶏業としては全国初。

GAP取得チャレン
ジシステムは9月に運
用が始まった農場認証
制度「JGAP家畜・畜
産物」のトライアル版。
食品安全や家畜衛生、
動物福祉に関する項目
を自己点検し、取り組
み内容が中央畜産会に
評価されればホームペ
ージ上で公表される。
2020年の東京五輪

。パラリンピックの食
材調達基準も満たす。

フュージョンは計8
万羽、南九州エッグシ
ステムは12万羽規模の
農場を10月に申請し、
11月下旬に公表され
た。12月5日現在、4

道県8社の農場が認定
されている。

フュージョン経営戦
略室の東郷和也室長は
「今後、輸出も視野に
入れており、世界で信
頼を得るには認証も必
要。残りの農場の登録
申請やJGAP認証取

得への移行も進めた
い」と話した。

(成尾由理香)